

第175回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成26年2月)

2014.2.27

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第175回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成26年 2月27日(木) 11時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ3F大会議室
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 6名

委員 長	村 田 久
委員	そのだ つくし
委員	大見山 俊 雄
委員	畠 山 さゆり
委員	小 松 豊
委員	菊 池 勝

欠席委員数 1名 田 口 幸 雄

### 会社側出席者名

代表取締役社長	富 永 健 治
専務取締役	辻 一 成
取 締 役	長 生 正 広
報道制作局長	佐々木 貴
報道制作部長	伊 波 伴 准
報道制作専任部長	吉 田 幸 弘
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	柏 葉 智
番組審議会事務局	佐 野 尚

#### 4. 議 題

(1) 合評番組：「スーパーJチャンネルいわて」

放送日時：2月 6日(木) 午後6時15分～6時55分

(2) 3月単発番組及び2月の視聴率について

(3) 次回審議会

開 催 日：平成26年3月27日(木) 午前11時～  
岩手朝日テレビ 3F大会議室

合評課題：IAT報道特別番組「3.11 今、伝えたいこと～東日本大震災から3年～」

放送日時：3月11日(火) 午前10時30分～11時25分

#### 5. 概 要

- \* 柏葉事務局長より3月の単発番組と2月の視聴率の内容が発表された
- \* 合評課題は「スーパーJチャンネルいわて」
- \* 閉校する小学校を取り上げた特集は問題提起となっており、内容はとてもわかり易くまとまっていた。
- \* 文字スーパーの位置や色の使い分けが良く、とても見やすい。
- \* バーチャルスタジオのセットがきれいで良い。
- \* ニュース・話題について、もう少し切り込んだ取材をしてほしい。
- \* 中継でスタジオMCと現場リポートの掛け合いがかみ合っていなかった。

## 6. 議事の内容

柏葉事務局長) 本日もお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。只今より、第175回 岩手朝日テレビ 放送番組審議会を始めます。本日は合評課題番組におきまして、報道制作局 佐々木局長、伊波部長、吉田専任部長が出席しております。後ほど合評の際は宜しくお願いいたします。それでは村田委員長、議事をお願いいたします。

村田委員長) おはようございます。それでは富永社長一言お願いします。

富永社長) おはようございます。東日本大震災からまもなく3年になります。今年の3.11につきましては例年通りですけれども、朝から夜までゴールデンの時間帯を除いて震災関連を扱います。今年の中継は田老からになります。以前話したと思いますが、陸前高田のキャピタルホテル1000の屋上に設置する情報カメラは、3月11日に間に合わせるべく作業しております。3月11日にはそれを活用することになります。最近の情報カメラの設置エリアは今、宮古、釜石、大船渡、それから陸前高田の4か所になります。すべてがHDになります。今回陸前高田に設置するカメラについては以前のカメラより高性能のカメラということで、夜でも若干明るい映像になります。あわせて、大船渡もHDのカメラを置いているのですが、同じような高性能のカメラに切り替えます。カメラの体制は、在盛民放の中ではいい形になると思います。大船渡で使っていたカメラに関しては花巻空港に移して活用します。すべてのカメラがHDになります。取材した映像を本社に送る伝送設備ですが、新たに陸前高田にも設置します。伝送設備は久慈、宮古、大槌、釜石、大船渡、陸前高田になります。

村田委員長) ありがとうございます。なにかご質問・ご意見ありますか？それでは3月の単発番組と2月の視聴率について説明いただきます。

柏葉事務局長) では、3月の単発番組と2月の視聴率についてお手元の資料によりご説明させていただきます。

まず3月の単発番組です。3月11日は東日本大震災から3年になります。テレビ朝日系列では11日(火)午後1時55分から「ANN報道特別番組 スーパーJチャンネル 東日本大震災から3年」をお送りします。番組では、ヘリで被災地沿岸を南下し、被災3県の各ポイントで震災前と震災後の

空撮映像を当日のライブ中継映像と対比し、在りし日の姿と震災3年の変化、3年目の復興状況を視覚的に伝えます。

また、地震発生時刻の午後2時46分に全国的に行われる黙祷の様子や天皇陛下出席の政府式典、各地の追悼式典を多元生中継でお送りします。IATではこの「ANN報道特別番組」に先立ちまして、午前10時30分から「IAT報道特別番組 震災を伝える～東日本大震災から3年の岩手～」をお送りします。番組では、これまでの復興状況と住まい・町づくり・産業など、被災地をめぐる多くの課題について、住民の声や行政の取り組みなどから考えていきます。また、震災遺構を保存することが決まった宮古市のたろう観光ホテルから生中継し、今後、次世代にどのように震災を伝えていくべきかを考えます。また、午前1時50分からは「テレメンタリースペシャル ～被災地からのメッセージ2014年春」をお送りします。大震災から何が違って何が変わらなかったのか？ 2014年春 それぞれの新しいドラマとメッセージを伝え残します。そして、21日（金）午前10時50分からは「ピリブ5 ～それぞれの3年～」をお送りします。再起を誓って闘い続けている企業、故郷で成長し希望を持って働く若者、新たな挑戦を始めている人たち、そして震災の記憶を伝えることを選んだ人。被災地で暮らしてきた人たちの「それぞれの3年」を見つめます。是非ご覧ください。

その他の自社制作番組ですが、3月1日（土）午後0時55分から「IATジュニアカップ」をお送りします。1月26日（日）に安比高原スキー場で行われた第1戦、2月9日（日）に八幡平リゾートパノラマスキー場で行われた第2戦の様態をダイジェストでお送りします。

続きまして、2月の視聴率についてです。ご覧のように全日7.6%、ゴールデン 12.1%、プライム 12.4%、プライム2 6.7%となり、全日は4位、ゴールデン・プライムは3位、プライム2は2位でした。2月はご存知の通り、2月8日からのソチオリンピックにより、良い競技を編成できたNHKが非常に好調でした。岩手地区高視聴率番組ベスト30の内、ソチオリンピックは10番組入っており、その全てがNHKでした。また、「ごちそうさん」平均視聴率29.4%やその後の「あさいち」平均視聴率18.8%と高視聴率を続けています。そんな中、IATは御覧のように、11日（火）の「トリハダスクープ映像3時間SP」が20.4%、5日（水）の「相棒」が16.0%、14日（金）は「こんなところに日本人」が15.2%、同じく14日（金）の「報道ステーション」が17.8%、8日（土）の「土曜ワイド劇場 森村誠一の棟居刑事」が15.1%と高視聴率を獲得しましたが、IATが放送したソチオリンピック番組3番

組、13日(木)の「女子アイスホッケー 日本 VS ドイツ」が4.4%、8日(土)の「フィギュアスケート団体」が5.6%、9日(日)の「スノーボードスロープスタイル女子」、こちらは日本選手が出場しなかったのですが、8.3%といずれも一桁と振るわず、先程ご報告しました通りゴールデン・プライム共民放では2位、NHK含めると3位となりました。また、2月はオリンピック効果により、HUTが先月比、前年比共にプラスとなりました。3月の単発と2月の視聴率については以上でございます。

村田委員長) ありがとうございます。単発と視聴率についてご意見ありますか？今回はずいぶんローカルが多いですね。3本ですか、なかなか見ごたえがあるのではないですか。白神山地は青森ですか？

柏葉事務局長) 青森朝日放送です。「ほっとねっととうほく」が5本入っております。テレビ朝日系列の東北ブロックの各局が制作している番組で3月に5本放送します。IATは昨年10月に「北限の海女」を放送し、合評課題とさせていただきました。

村田委員長) 何かございませんか？

菊池委員) 「テレメンタリーSP」はずいぶん遅い時間に放送していますね。

柏葉事務局長) テレビ朝日では午前10時30分に放送するのですが、IATはローカルで番組を編成したので深夜での放送となります。

村田委員長) 視聴率について、金曜の「報道ステーション」が17.8%と今までにないくらい高いのですが、内容は？

柏葉事務局長) 2週連続で大雪の報道と羽生結弦がショートで最高点を取ったというものです。

村田委員長) NHKが思わぬ検討をしていましたね。ソチの関係ですよ。何もなければ合評に移らせていただきます。合評課題「スーパーJチャンネルいわて」です。大見山委員からお願いします。

大見山委員) 特集の「消えゆく学校」について。短い時間の中で子どもたちとか、先生、地域の人々の学校の消える不安や寂しさが非常にわかりやすく伝わりました。あの短い時間で本当

によく出来ていたと思います。小さい学校ならではの良さ、家族のような存在といういい方をされていましたが、家族愛みたいなものが消えていくものに対して名残惜しさ、こういったものが子どもを通して分かったのが印象的でした。ただひとつ、子供ならではのたくましさ、新しい環境に対する不安だけではなくて、友達と一緒にならどこへでも行ける、そんなコメントありましたが、子どもながらに乗り越えようとしているのも将来的に明るい話題かなと思いました。親の気持ちはどうだったのかなと。インタビューは子どもか子どもに接している人のコメントでした。唯一教育委員会がありました。時間があれば親の気持ちなんかがあれば、周りの人の気持ちもよりダイレクトに伝わったのではないかと思います。非常にいい特集だったと。

小岩井の中継について。違和感があったのが、スタジオと現場のやり取りがかみ合っていなかったシーン多々ありました。スタジオから質問を現場に投げかけたけれども、答えず無視しているようなシーンがあったのと、答えてはいるんだけど、次の展開が気になっているのか、非常におざなりな答え方をしていた場面がありました。そこがちょっと問題だったのではないかなと。食べ物、豚まんのようなものですが、湯気はご愛嬌として、食べ物を口に入れたまま次の展開までひきずっていて、かわいそうだなと気になってしまいました。現場とのやりとりで、スタジオから「暖まっていいですね」だったのに対して「はい、おいしかったです」と、ちょっとかみ合わないですね。次のことばかり考えて大変そうだったという印象でした。

それから、「はやぶさ」の雪像を出してもらったのですが、あれはかっこよくない。ありがたいような、ありがたくないようなという感じ。

高校入試受付のニュースが冒頭流れていたと思うが、「今日のJチャン」でまったく同じやつですか？あれはああいふものだと思えばよいのでしょうか？

塚本アナの滑舌よく丁寧な話し方をされていていいなと思いましたが、一方で表情が堅い。もうちょっとやわらかくていいシーンが多々あったかなと。南昌荘の雛祭りとか、もうちょっとやわらかいトーンでやり取りすると和むのではないのでしょうか。堅いのが得意な方なのかな。

最後に私どものフェザンの「ショコラステーション」を中継していただきありがとうございました。

菊池委員)

当日、大きなニュースがなかったのかな、と。特集がある時間のなかで十分目立っていたし、中継が十分作れたの

かなという印象でした。スタジオのセットは他局と比べてきれいでいいなど。ニュース、ニュースな感じでなくて。先程も出ていましたが、项目的には同じような内容です。キャスターリポートは非常にあの時間帯は子供たちの表情、とくに5年生の子のコメント、しぐさ、キャラもいいなど。本当は寂れゆく学校にも関わらず、明るさ。子供たちが財産だから、地域と子どもたちが大事というのが捉えられてよかったと思いました。

中継ですが、当日は非常に寒い日だったということがあったのか、坂本アナウンサーがいろいろ一生懸命しゃべってテンションも高まっているけれど、会話のつながりというか、雪像の説明をしているときも何かピンとこないイメージがありました。「チャグチャグ馬ッコ」の説明をしているときも寒いのか、文章がかみ合わなくて。今回の小岩井は、雪像もそうですが100メートルの滑り台が目玉だ、ということで番組の冒頭、中継の冒頭で迫力のない感じでした。迫力が欲しかったです。今回の雫石のマスコットの部分で「なんとかさんも大喜び」とありましたが、何回きいてもわかりませんでした。屋台村についても先ほどと同じ。角煮をもっと観たかったです。あつあつ感は出ていたのですが、まさにいま出てきたものを食べて、ずっと引きずっていたので、スタジオからも時間を与えたり、スタジオでしゃべってあげるとか、あってもいいのかなと。

気になったのは「今日のJチャン」で南昌荘が2回でたのはダイジェストかなと思ったら1つだけだった。どういふことなのかなと思いました。

最後の塚本さん、藤原さんの2人のアナウンサーの掛け合いは、どうしても堅く感じました。

小松委員)

まず、トップニュースで「今日は真冬日」というところで、トップニュースといえばアメリカCNNニュースといえばプレーキングニュースの位置づけですが、たしか一年前も「県内冷え込む」がトップニュースだったような記憶があります。おそらくそんなに大きな事件がないんだろうなというのが最初で、なんとなく内容の想像がつかしました。

公立高校の一般入試と山田町の横領事件のニュースがあつて。山田町の逮捕された悪そうな人、今年度中に検証委員会がありますという話があつて、それでは南昌荘のひな祭り、塚本アナウンサーのほとんど堅い表情で、変化がなく、楽しいときは楽しくしてもいいのではないかなと思いました。ひな祭りから、ショコラステーション、雪祭りという流れだったので。



小岩井の雪まつり中継は、私も同じで、スタジオを現場の坂本さんのキャッチボールになっていないというか、寒いのは伝わるけれども、滑舌がいかんせんよくなくて、ぎこちないイメージ。坂本さんももうちょっと楽しそうに、若干はしゃいでもいいぐらい。楽しさをもうちょっと伝えてほしかったなど。現場の流れを頭の中で整理しているけれど、表現できていないのが伝わってきました。

キャスターレポートですが、冒頭で教室にカメラが入った時に、カメラが曇っていました。ライブではないのですからその辺は修正してもいいのかなと思います。グラフが出てきて説明がありましたが、1956年から突然2009年に飛んでいるので、団塊ジュニア、私ら世代である1970年あたりも何校くらいか知りたかったです。10人未満の危機に瀕している学校がどのくらいあるのか、知りたかったです。小学生2人の気持ちがよくわかりました。

小岩井に関して、誰でもアクセス方法は分かりますが、盛岡の人ばかりではないので、「こちらからだと早く入れます」とか案内があっても良かったかなと思います。

天気予報については、坂本アナウンサーのぎこちなさがウソのような、原稿があるからなのか、非常にスムーズな伝え方でした。そのときのBGMと会場のざわつき、アナウンサーの声が聞きづらかったです。会場の臨場感を伝えるということではいいのですが、個人的にはギャーギャー騒いでいるような、どちらかと言えば雑音に感じました。

そのだ委員)

ほとんど言われましたので、言われなかった部分を。ざっくり内容というよりも、字幕スーパーの色分けが見やすかったです。ニュースの題名は黒に白字とか。白に黒とか。パッと見、「こういうニュース」をいま伝えているんだなど。インタビューの答えがピンクとか緑とか、使い分けが個人的には好きです。雪まつりは、私は主人が雫石の観光協会なので、初日に行きます。おかげで立派な雪像の状態で見ているのですが、新幹線を映したのは失敗だったかなと。滑り台も坂本さんが自分で滑って演出しているのですが、子供たちがいっぱい滑っているシーンを見せたほうが、スピード感もでるし良いのではないかと思います。今年は斜面が緩やかなので、スピードが出なく不評でした。アナウンサー同志の会話も聞きづらかったし。実際見ているのですが、雪まつり全体は小さいんですね。それをカメラアングルが上から見た角度とか。イルミネーションも小さいのですが、長くきれいに見せているという、撮り方が地元民としてはうまいなど、素晴らしいカメラマンだったと思

います。カメラの曇りも暖かさがでて、角煮まんがおいしそうなのですが、坂本さんが食べてすぐ置いたところが映ってしまって、できれば持ちながら歩いてもいいのかなと思いました。

キャスターレポートの閉校をむかえる小学校は、よい題材だと思います。雫石町でも合併とかの問題があります。そこまで人は少なくないが、番組を一つ作って岩手の少子高齢化として取り上げてもいいのかなと思いました。学校は被災地だと3校合併などやっているくらいですし、もう少し田舎にいくとさらに人数が少なくて10人以下の学校もたくさんあるのですが、県とか教育委員会とかでは何とか無くして予算がどうの、という話もあるし、親の気持ちとしてはできれば歩いて通わせたいとか、大きい学校に小さい学校から行かせるのが不安だとかもあるし。私はこういう番組があるといいなと思います。

雪まつりの時期は遅かったのかなと思いました。

畠山委員)

私もみなさんが言わなかったことを。ニュースは毎日のことなのですが、配分よくやるものだと感心しました。バランスも良かったし、ニュースがないならないなりにやっているなど。今回、どういう視点で見たかというところと「どうやったらニュースに取り上げられるのかしら」と思いました。たとえば、ショコラステーションを取り上げます、小岩井の雪まつりを取り上げます、どちらも民間ですよ。どうやったら長く取り上げられるのか、お金かしら、とか。バラエティー番組やスポンサーだと長く取り上げがあったりしますが、ニュース番組で長く取り上げられるというのは、ものすごく宣伝価値が高いと思います。PRというよりは報道なので。フェザンのスイーツが何分で、雪まつりが長いのは何か裏事情があったのか知りたかったです。公立高校の入試の情報ではカメラが盛岡四高に行っていましたが、それはどうしてだったのかしら、と思いました。

学校の統廃合は、それだけでテーマになります。私が思ったのはどういう基準で誰が決めるのか。基準はどの辺にあるのか、10名未満になったらリストアップされて、だれが最終決定をするのかということもありますし、学校だけの問題でなく高齢化社会にもつながって、ノスタルジーだけではやっていけない部分もありますよね。点在してたところに行き届かないのであれば、生き残る術としては小さくまとまったほうが良いでしょうし。今後、平成26年には世界一高齢化社会になる日本が何もモデルケースが無いなかでどうやっていくのか、気になるテーマと

して見ていました。取り上げられるのであれば教えてください。

村田委員長)

みなさんの意見はだいたい、同じような内容がありました。全体的にニュースの話題と特集を柱としてまとまっていますが、いまひとつ物足りなさが残ったように感じます。いつもスーパーJチャンネルを見ているのですが「スーパー」と銘打っている以上、単にニュースとか話題を伝えるだけでなく、他局と差をつけなければならないと思います。それが「スーパー」に込められていると思います。もうちょっと切り込んだ内容、地元密着の取材をしてもらって、なるほどと思わせる番組作りをしてほしい。でも何かものたりない。今回でいうと山田町の横領事件ですが、ニュースをずっと流すのではなく、県民の間では関心が高い事件なのですが、自治体の関係者のコメントとか地元住民の反応の声、そういうのを入れられなかったのか。ただニュースを流すだけならば、ふつうのニュースを見ればいいのであって「スーパー」なのだから、考えないと。それから南昌荘のひなまつり。もう少しじっくり見せてもいいのではないかと。ここでは昼食みたいなものを出すはずなのですが、それもなかったし。そのへんの内容を盛り込んでほしい。南昌荘からのコメントもなかったし。入れてほしかった。

一番、気になったのは小岩井の雪まつり。まるっきりがたがたで見るのもつらかった。全体的に女子アナが慣れないのか、落ち着きがない。もうちょっと構えてほしい。スタジオとかみ合っていないという意見がでていましたが、何でかみ合わなかったのか、打ち合わせがしっかりしていないのでは。カメラのアングル、ずいぶんきれいで夜景もきれいだ、という話もありましたが。僕はカメラ一台なのかわかりませんが、小岩井の屋台での角煮の湯気はプロなら曇らないように撮らなくちゃならない。これはぼやけてもしょうがない、ではない。ぼやけたらだめ。プロ感覚をもってほしい。それからせっかく屋台の食べ物を見せたのだから他の食べ物もあったはず。それを見せないと、さびしくて。客がいるのかいないのかわからないし。一番残念だったのが客へのインタビューが一つもない。マイクを向けることができなかったのか。リポーターが口をモグモグしながらウロウロするようでは見るのは本当につらい。そういう面をニュースということをやうまく見せるならもっと気を付けないと。ということが気になりました。雪まつりは寂しすぎる。きれいだと言うだけではどうにもならない。

それから、前段のニュースで公立高校の願書受付があって、また後半で同じシーンが出てくる。これ、必要だったのか。なぜ繰り返す必要があったのか、いまだに分からない。救われたのは、小学校の閉校の特集。丁寧なつくりで、良かったと思う。そのだ委員の言うとおりに、これ一本で番組が作れる。各地で学校がどんどん併合されていて、学校がなくなっていることが現実起きています。その辺をできたら追って取材していいのではないかと。こういう特集を組むか、切り込んだ内容を作るか。

それから各場面のテロップの作り方はすごくよくて、見やすかったです。色分けして、ちょっと聞きづらくてもテロップをみると、なるほどなど。気になったのは女性アナの落ち着きのある、経験のある、しゃべり、動作。すこしでもよくなるような手だてをしてほしい。以上です。みなさんから言い足りなかった意見があれば。

そのだ委員)

ここでいうのも何なのですが、3.11があるので、震災の番組が多いのですが、昨日某局で県政番組に出演させてもらったのですが、あまりにも堅い雰囲気でした。ギャラリーも役人とか代理店さんが多くて、震災の特番をして観ているひとの意見も、ほとんど内陸の人ばかり。現場の意見がなぜないのだろう。時間がないのでしょうか。後ろで絵を描いていて思いました。県庁の方が真面目な言い方で、なぜ本音でしゃべらないのかな。震災で生放送なら、難しいと思いますが、朝日さんで取り上げられるなら、これまでのやっていることをひっくり返すような実際三年たってこなれ感はありますが、ずっと変わらずに現場の意見を聞いて、そのままの気持ちで伝えてほしいなと思いました。

村田委員長)

僕もいろいろあちこちで、相談を受けることが多くなった。3年たつと別の問題が出てきている。それに対して各局がどのように対応するか、番組を作るか、どういうローカルの地元に入り込む番組を仕組むか、相談をうけました。NHKからもあって話してきました。あまりに各局違う、スタンスが違う。視聴者は迷ってしまう。そろそろ復興だ、元気だせでもない。待ったなしでもないし意外にのんびり、堅さだけが目立つ。実は、NHKでラジオ番組を作ろうとしています。その趣旨は震災以降、NHKはラジオの力がなかった。震災時におけるラジオはFMとか岩手のローカルのラジオがすごくみんなの証みたいのに、役にた

ったけれどもNHKのラジオは機能を果たさなかったという批判があったそうです。そういう意味で、相談をうけました。いろんな各社の考えもあるだろうし、いきなり殻をやぶることもできないでしょうが、そのへんをそのだ委員は言いたかったのでしょうか。うちのテレビはもう少し違った面をだせると信じています。余計ですが、お願いしたいです。それでは吉田さんの方から。

吉田  
報道制作専任部長)

ありがとうございます。共通して頂戴した意見、中継ですね。坂本にとって初めての中継ということで私も現場にいました。移動距離が多い、喋りながらの距離が多くて、負担でしたが視聴者には関係のないことです。研鑽をつもうと思います。滑り台は、リハーサルではスピードが出ていました。坂本は日頃スタジオにおりますが、これからの成長を見守っていきたいと思います。

小学校の閉校について。去年おととしから取材したいと思っておりました。今年の始業式から取材を始めて、一つの企画にできました。本来であれば夏からやりたかったです。今後も閉校式などの取材を通じてまた取り上げていきたいと思います。

佐々木  
報道制作局長)

「きょうのJちゃん」の繰り返しですが、いくつか要素があります。通しで見ておられる方は「なぜもう一度」と思われますが、試験的にやっているところもあるのですが、同じようなことはテレビ岩手もやっています。最後に同じ項目をリピートで。だからやっているのか、というところではなくて、考え方としては午後6時15分から7時までの間、総視聴者数、見ている人の数が増えてきます。特に官公庁の職員の方々とか男性サラリーマンが帰宅してくる、働く女性なども、どんどん数字が上がってきます。どうしても、私どもの天気予報が終わってしまうと「あとはもう何もないのよね」というふうにはザッピング、「もういいや」、とチャンネル切り替えられてしまうことを防ぎたいということ、視聴者層が最初は主婦が中心となりながら、後半になると帰宅したサラリーマン、サラリーウーマンがいらっしゃると。今日何があったんだろうね、と気が付いてほしいところがあって、振り返りをしています。もちろんこの日はそういう形になりましたが、たとえば午後5時台とか6時台の後半に食中毒で何人がとか、事故があつてとか最新のニュースに差し替える段取りで運用しています。こちら

側の意図としてはこのような趣旨になります。忌憚のないご意見いただきたいと思います。

村田委員長)

この時は「公立高校の願書受付」でしたよね。内容にもよると思いますが、最初に出て、最後のほうに見る内容なのか。内容の捉え方なのだろうと思うのですが、佐々木さんの言ったような考え方もあると思うけれども。願書受付というのはある意味限られた人たちへのニュースでしょう、関心のない方々もいるでしょうし。学生生徒さんを持つ親は必要でしょうけれど。

佐々木  
報道制作局長)

なぜ入れたかということ、もちろん、視聴率の兼ね合いもありますが、関心のある話題だと捉えています。というのはこれまでの倍率、合格発表、本人、両親、祖父母、それぞれの世代が気にしていて、関心が高いという統計がでているので、身近なものはこれだろうと吉田は判断したと思います。

長生取締役)

他にも大きなニュースがあればトップにはならない可能性はあると思います。ニュースは日々相対的ですから。学校の数字ものは、新聞も大きなスペースを割いて、倍率とか載せるのですが、そんなにスペースを取るべき話題かどうか議論になるのですが、関心があるのだろうと。だからあの日もビッグニュースがあればあのトップニュースはなかったと思います。

村田委員長)

これがいいとか、悪いとかはないと思いますけれどね。みなさんの意見はどうですか？

菊池委員)

大きなニュースがあればいいですが、迷うようであれば今日のニュースとして何項目が編成してもいいのかなと。一つだけ取り上げるから違和感があるのかなと。

吉田  
報道制作専任部長)

フラッシュニュースとか？

佐々木  
報道制作局長)

この日は、その他のニュースを一本やったうえで、突然一番初めのニュースを振り返っているという内容で。むしろこの場合でしたら、その他のニュースを一本入れて振り返りは入れずに、ふつうに「報道ステーション」や「特集」

の告知をして、終わらせるほうが違和感はなかったかもしれません。最新ニュースと競合した際に「きょうのいわて」を入れるか入れないかを都度判断して、入れるほどの内容ではないのなら、他のニュースを一本いれてIATはあんこのいっぱいしまった「たい焼き」のように、おしりまでニュースがあるんだよとっていただいて視聴率アップにつなげようという考えもあります。

村田委員長)

わかりました。その辺は番審だからこそこういう話ができるのだと思います。

佐々木  
報道制作局長))

非常に大事なもので、ニュース中継の考え方、村田先生がおっしゃったように、差別化をすとか、お客さんへのインタビューがないとか、情報番組の中継になってしまっ。現場に行ってきた映像をみせて何か食べさせればいいのかという中継になっていますよねって、指摘は確かにその通りだと思います。報道番組で中継する際は、視聴者に有益な情報、食べ物だけではないはずだし。実際にどんな気持ちで、そこのイベントに参加したり遊んだり、食べ物を食べたりしている方々へのインタビューが無ければニュースの中継としては成立しづらいものがある。そこを追わなければならない。情報番組っぽい中継をしてしまったような気がしています。ニュース中継と情報番組での演出を差別化しなければならないと理解させられたお話でした。ありがとうございました。

伊波  
報道制作部長)

あと一点、アナウンサーに関してですが、塚本アナウンサーについては表情のことは常に情報交換しています。なかなか真面目な性格が裏目に出てしまうところがあります。笑うときにひきつらないように、というのは普段からの所作にも関わることなので。私も新人の時にはたくさん言われましたので本人と時間をかけて努力してきたいと思います。坂本アナウンサーに関しては、みなさんが感じられたとおりです。やはり初めてのの中継をしっかりと取り仕切りたいと頭の中にあっただようでした。見ている人のために100%やるべきことが、半ば自分のために半分以上時間を使っているところが見受けられましたので、当日のうちに指導しました。本人も力がないのがよくわかったと言っていますので、こればかりは場数を踏ませなければならないと思っています。固さ、真面目さを払拭するやり方として事前の打ち合わせもそうですし、

アナウンサーの言葉の運び方ひとつで、雰囲気と状況は変えることができると思っています。細かい指導は本人にしましたが、見てる方にニュースとして必要なこと、楽しい要素はどうやって伝えることができるかというバランスを取ってやるのか、というのは永遠の課題でもあります。一日も早く皆さんに、あの方が担当するのを見ていて楽しかったね、ほっとしたと言われるような場面が出るよう、細かい指導を積み重ねていきたいと思っています。頑張ります。

村田委員長) はい。あまりきついことを言わないで下さいね。他になければ次回開催について、事務局の方から。

柏葉事務局長) それでは、次回についてご説明いたします。次回の番組審議会は3月27日(木)午前11時から弊社3階会議室での開催となります。合評課題は、先程の単発番組にてご説明しました3月11日(火)午前10時30分から放送します「IAT報道特別番組 震災を伝える～東日本大震災から3年の岩手～」を合評課題とさせていただきます。

是非、ご覧になっての貴重なご意見を宜しくお願い申し上げます。

村田委員長) その他、なにか質問なり意見はございませんでしょうか。なければ番組審議会を終了します。

#### 7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

#### 8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。

系列各局に議事録を送付。

本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。

インターネットホームページに掲載。

#### 9. その他の参考事項

#### 10. 配布資料

◎ 3月単発番組編成予定表

◎ 2月岩手地区視聴率